



りんどう通信

2016年
10月



発行：暮らしのサポートセンター・久住「りんどう」

4周年を迎えました

平成24年9月6日設立総会を開き、21日にオープニングセレモニーを行い早4年経ちました。

自分がお手伝い出来る事を手伝い、自分で出来ないチョット困りは手伝って頂く互助の生活支援と介護予防運動、誰でも何時でも気軽に立ち寄れる場所を提供した活動は斬新と、全国から沢山の視察を受けています。今年5月までに、竹田市に7つのくらサポが誕生しました。市内すべてを網羅できる体制が出来ました。りんどうは1号店としてこれからもくらサポの顔として頑張っていきますが、4年経てば活動会員も比例して高齢化します。

新たな会員を募っています。私たちの趣旨に賛同して頂き沢山の入会をお待ちしています。

7月から白丹で暮らサポ養成セミナーを開催し、10月から旧久住町で生活課題実態調査を開始します。調査員や調査対象者のお願いに伺いましたら協力よろしくお願いします。最後に今年4月聖人に加えられたマザーテレサの言葉「この世の最大の不幸は、貧しさや病ではない誰からも必要とされていないと感ずることです」

りんどうは“人とひとの繋がりを大切にし支え合う”を理念にしています。

生活課題実態調査にご協力下さい

久住地区では75歳以上の高齢者を対象に、地域の皆様との協働作業による「生活課題実態調査」を実施します。この調査により地域の実態や困り事を把握し、行政や関係機関、住民との協働で、よりよい地域づくりに活かしてまいります。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

養成セミナーに参加して

暮らしのサポーター養成セミナーを初めて受講した感想は目からウロコ。知っている様で案外理解して無い・・・と言うことを実感しました。受講してよかったと感謝しています。実は私は久住加藤医院に勤務しています。また、NPO法人「湧楽感」を有志の方達と立ち上げ、地域の安心・安全な町づくりを考えていく上で、人々の交流の大事さを学ばせていただきました。旧久住町限定のセミナーでしたが、会場が白丹温泉館で開催されたため、地元白丹地域の受講生が殆ど、久住・都野の参加者は1~2名と少なく残念に思いました。逆に小ブロックで和気あいあいコミュニケーションが取れ良かったかも?とも思っています。それにしても参加者は殆ど淑女、女性のバイタリティ（良い意味の積極性）が長寿に繋がり、逆に男性の内向性（引きこもり）いやいや生涯現役で暇がない又は地域性か、少し寂しかったです。これからセミナーで学んだ事を“りんどう”は勿論久住全域で積極的に実践（後方支援）したいと考えています。ありがとうございました。

相馬 康信



くらしの「ちょっと困り」をお手伝いします



りんどうでは、日常生活の困りごとを有償でお手伝いしています。

〈家事に関する事〉

- 食事の準備 ● 買い物代行 ● 掃除・洗濯 ● ゴミだし
- 見守り・話し相手 ● 外出支援 ● 趣味の農作業支援
- 家周りの環境整備 ● 簡単な家内修理・修繕
- 精米 ● 代筆・代読 ● 服薬確認 ● 自治会行事代行 など

〈子育て支援に関する事〉 ● 学童保育のお手伝い など

利用料金 30分：400円 1時間：800円 30分：500円 1時間：1000円（草刈時）

※年会費 1000円（運営費にあてさせていただきます）



りんどう広場の様子



毎週火曜と木曜日「りんどう広場」を行っています。介護予防の運動やレクリエーション、ゲームなど指導者やサポーターの協力で楽しい時間を過ごしています。



りんどうの支援員がかわりました



9月からりんどうの担当支援員になりました、猪 洋子（いい ようこ）と申します。今年の4月に大分市内から久住に引っ越して参りました。まだまだ久住の事も仕事の事も不慣れでご迷惑をお掛けしますが、頑張って取り組んでいきますので宜しくお願い致します。

活性化推進室が引っ越しました

この度竹田市経済活性化促進協議会活性化推進室が、総合社会福祉センター内に移動しました。竹田市社会福祉協議会と同じフロアで事務所を構え、これまで以上に連携をはかりながら、業務をしていきます。

連絡先（62）- 2122 活性化推進室まで



〒878 - 0201

久住町大字久住5975 - 10

☎76 - 0770 代表：小野朝男



りんどう